



学校だより 6月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

いろいろな学び

副校長 井上 和浩

わたしは小学校高学年の頃、週3回、月・水・金とそろばん塾に通ってそろばんを習っていました。制限時間の中で何十万という大きな数を手差し指と親指でそろばんの珠(たま)をはじき一心不乱に計算していました。答えが出ると、握っている鉛筆を素早く持ち変え解答欄に書きます。指を動かすことで脳が刺激され、また集中力も磨かれたような気がします。もちろんに数字にも強くなったようで、簡単な足し算や引き算は今でもすぐに頭の中で計算できます(正確さはだいぶ怪しくなってきましたが)。そろばんは「意識した学び」です。

また、同じ頃、切手を集めていました。切手カタログを見るのも好きでよく眺めていました。毎年売り出される年賀切手、趣味週間や文通週間の切手など定番シリーズは毎回どんなデザインなのか楽しみでした。今もその時期になるとそれらのシリーズは販売されていると思います。

大人になって思うのは、切手を見ているうちに図工の絵を描くときのデザインや色使いを知らず知らずのうちに学んでいたのかもしれないということです。美術館巡りというとオーバーですが、ちょっとした作品鑑賞をしていたのだと思います。これは「無意識の学び」と言ってよいかもしれません。

学校は前者の学びが中心です。

先に行われた運動会のねらいは

- (1) 健全な精神を育成し、体力、気力の充実を図る。
- (2) 自ら参加することにより、自主自立、協調、協力等の望ましい態度を養う。
- (3) 児童の創意を生かし、自主、自発的な参加運営能力を伸ばす。
- (4) 学校の主体性を持つ中で、地域の人々の結びつきをより深める。

運動会という行事を通して子どもたちのよりよい成長をうながしています。日々の授業、行事などにはすべてねらいがあってそれらが達成できるよう教員は知恵をしばり、工夫して教育活動をおこなっています。

さて、もう一方の後者の視点で考えると、こちらも多く学びがあることに気付かされます。友達の姿から自然と影響を受け、自分も頑張ろうと思いますし、徒競走では思わず声援を送り無意識に仲間を応援しています。自分のモチベーションアップにつながったり、友達を思いやる心が育ったりしています。音楽に合わせて学年のみんなと踊るととても気持ちがいいことも実感したはず。練習や本番で、友達や教師と関わり、家では保護者から応援やねぎらいの言葉をかけてもらいながら、やる気を強くしたり、継続したりしたはず。その時にしか味わえない様々な思いを感じたはず。このような発見や気づきが成長へとつながっています。



6月以降も各学年で様々な活動が計画されています。25日(土)には土曜参観も予定されています。保護者の皆様から足を運んでいただき、お子さんたちへの温かいお声掛けをしていただき、意識した学びと無意識の学びをさらに進められればと願っています。子どもたちの頑張る姿を後押ししていただければと思います。